

教科	科 目	単位数	学年・クラス
商業	ビジネス基礎	3	2年1組

### 1 使用教材

使用教科書	ビジネス基礎
出版社	実教出版
副教材等	ビジネス基礎 新訂版 問題集
出版社	実教出版

### 2 学習の目標

<p>1 ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>2 ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>3 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---

### 3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決ことについて考えている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	B	A	毎時間の課題（ノートプリント・計算タイム・問題集）、発表
提出物	C	B	A	ファイル・問題集を定期考査毎に提出
ペーパーテスト	A	A	C	定期考査、確認テスト
検定試験	A	B	C	全商ビジネス計算実務検定、全商商業経済検定

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1章 商業の学習ガイダンス 1 21世紀にはばたく 2 しっかり楽しく学んでいこう  第6章 売買に関する計算 1 売買に関する計算の基礎 2 売買に関する計算の応用  第2章 経済と流通の基礎 1 経済のしくみとビジネス 2 社会の変化とビジネスの発展 3 経済活動と流通  第3章 ビジネスの担い手 1 ものの生産者 2 サービスの生産者	ビジネスの基礎・基本の能力を理解する。 商業科目の主体的な学習方法や生涯学習の必要性を理解する。 商業の各分野が目指しているビジネスの理解力や実践力の意義を具体的に理解する。 商業の学習分野と資格取得との関係や卒業後の進路を考える。 割合の表し方、基準量と比較量、割増しおよび割引の計算について理解する。 取引数量と建・建値による商品の代価の計算方法を理解する。 度量衡の意味を理解し、換算に関する問題練習を行う。  商品の定義を学習し、経済の仕組みや経済主体と経済循環などについて理解させる。 三大生産要素の意味を確認し、これらは限りあるものであること、すなわち希少性概念について理解させる。生産と消費の間には、人的・場所的・時間的隔りがあることを理解させ、その隔りを解消する商流的流通と物的流通を説明する。さらに、流通の担い手の概略を整理する。 消費者ニーズを満たす製品を製造して市場に提供することが、ものの生産者の基本的な役割であることを理解させる。
2 学期	3 小売業者 4 卸売業者 5 物流業者 6 金融業者 7 情報通信業者  第4章 企業活動の基礎 1 ビジネスと企業 2 資金調達 3 企業活動と税	通信販売の進展や巨大流通グループの誕生など、今日の小売業者の動向を理解し、国による街づくりの仕組みを学習する。 生産者などから商品を仕入れ、それを小売業者に販売するというビジネスを行うことが卸売業者の基本的な役割であることを確認する。 普通銀行・証券会社・保険会社のそれぞれのビジネスについて、その基本的な業務や仕組みなどを理解する。 情報通信業の主な担い手として、通信業者と情報サービス業者があることを理解する。  企業の役割や種類などについて理解する。特に株式会社の仕組みや機関については、基本的な内容をしっかりと理解する。 各種の資金調達の方法があることを説明し、社債の発行と株式の発行による資金調達を理解する。 税の意味と法人税・住民税・事業税・固定資産税・消費税の概略を理解する。 申告納税方式について、その概略を理解する。
3 学期	4 雇用 5 企業倫理  第5章 ビジネスと売買取引 1 売買取引の手順 2 代金決済  第7章 ビジネスとコミュニケーション 1 コミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 情報の入手と活用	雇用の意義について、賃金・雇用契約・失業率などのキーワードを用いて学習する。企業倫理と社会的責任という抽象的な概念を、具体的に学習して理解する。  見積もりと注文の方法について説明する。特に各種書類の意味について理解する。コミュニケーションの重要性について理解する。  2つのCASEを通して、ビジネスにおける情報の活用とはどのようなことであるかを理解する。